

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月28日

石川県知事 馳 浩 殿

提出者

住所 石川県白山市上柏野町177番地

氏名 株式会社 松陽建設

代表取締役 齋藤 秀明

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 076-276-2444

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松陽建設
事業場の所在地	石川県白山市上柏野町177番地
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	土木工事業
② 事業の規模	元請け完成工事高 137,809千円/ (R3.10.1~R4.9.30)
③ 従業員数	6人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	運搬受託者→処分受託者→最終処分(埋立処分、再生等)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	1 2 5 6 . 8 5 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1256.85 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1256.85 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

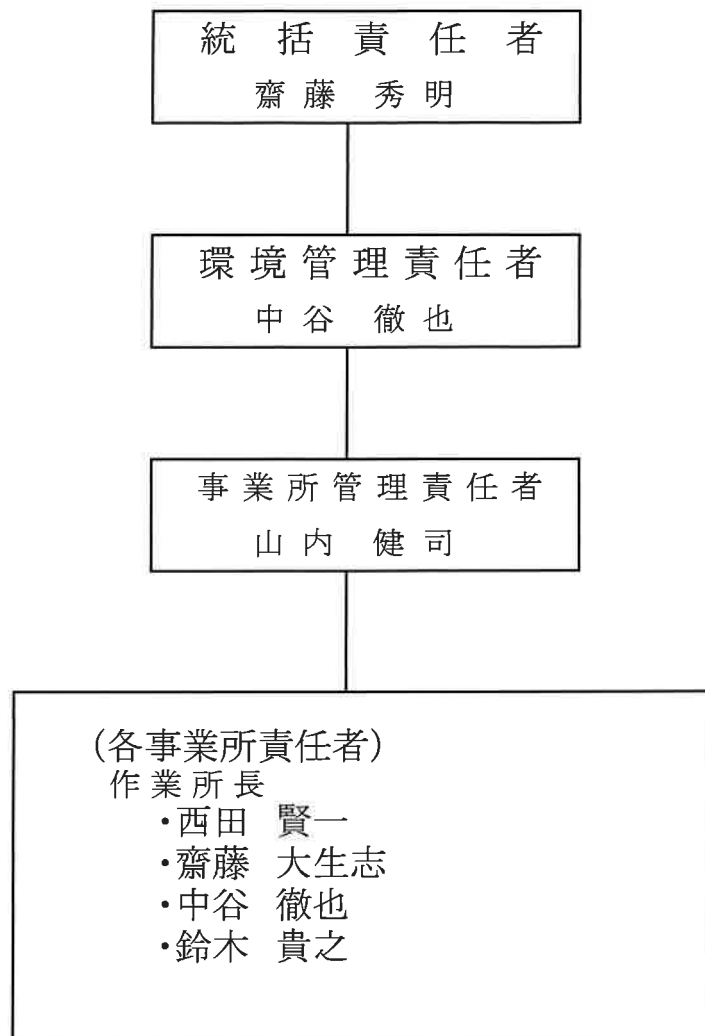
1 会社概要

- (1) 会社名 株式会社 松陽建設
- (2) 代表者 代表取締役 齋藤 秀明
- (3) 住所 石川県白山市上柏野町177番地
- (4) 資本金 5,800万円
- (5) 従業員 6人

2 当該事業場において現に行っている事業の概要

- (1) 元請け完成工事高等
137,809千円／(R3. 10～R4. 9)
- (2) 事業概要
当事業所では、公共工事等の土木工事を主に行っている。
- (3) 産業廃棄物の種類
がれき類(コンクリート・アスファルト殻)が主である。
- (4) 実績及び数量
品質及び数量は設計図書に基づいて搬出し、最終確認は、マニフェストにより行い、D票(控)を発注機関(石川県・白山市等)に提出する。
- (5) 事業展望
公共事業を主体としているため、受注工事高減少にある。
- (6) 連絡先(担当者)
工事部 塚本 夏奈
TEL 076-276-2444
FAX 076-276-2447

(株)松陽建設 産業廃棄物管理体制組織図



上記体制に基づき環境保全に努めます。

前年度(令和3年度)の産業廃棄物発生量

	金属 くず	廃プラス チック類	生木	ガラスくず 及び陶 磁器くず	がれき類 (コンクリート くず)	がれき類 (アスファルト くず)	混載	混合廃棄 物(木、紙 くず等)	廃石綿 等	合 計
①産業廃棄 物発生量	0トン	0トン	0.33トン	0トン	711.53トン	144.56トン	2.21トン	0トン	0トン	858.30トン
②自己直接 再生利用量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
③自己直接 埋立処分又 は海洋投入 量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
④自己中間 処理量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑤自己中間 処理残さ量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑥自己中間 処理後再生 利用量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑦自己中間 処理後自己 埋立処分又 は海洋投入 量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑧直接委託 及び自己処 理後委託処 分量	0トン	0トン	0.33トン	0トン	711.53トン	144.56トン	2.21トン	0トン	0トン	858.30トン

令和4年度産業廃棄物処理計画実施状況

	金属 くず	廃プラス チック類	生木	ガラスくず 及び陶 磁器くず	がれき類 (コンクリート くず)	がれき類 (アスファルト くず)	混載	混合廃棄 物(木、紙 くず等)	廃石綿 等	合計
①産業廃棄 物発生量	0トン	0トン	0トン	0トン	825.42トン	426.75トン	4.03トン	0.65トン	0トン	1256.85トン
②自己直接 再生利用量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
③自己直接 埋立処分又 は海洋投入 量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
④自己中間 処理量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑤自己中間 処理残さ量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑥自己中間 処理後再生 利用量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑦自己中間 処理後自己 埋立処分又 は海洋投入 量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑧直接委託 及び自己処 理後委託処 分量	0トン	0トン	0トン	0トン	825.42トン	426.75トン	4.03トン	0.65トン	0トン	1256.85トン

令和4年度の産業廃棄物発生量の目標

	汚泥	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず及び陶磁器くず	がれき類 (コンクリートくず)	がれき類 (アスファルトくず)	木くず	混合廃棄物(木、紙くず等)	廃石綿等	合計
①産業廃棄物発生量	0トン	0トン	0トン	0トン	1000トン	500トン	0トン	0トン	0トン	1,500トン
②自己直接再生利用量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
③自己直接埋立処分又は海洋投入量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
④自己中間処理量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑤自己中間処理残さ量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑥自己中間処理後再生利用量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン	0トン
⑧直接委託及び自己処理後委託処分量	0トン	0トン	0トン	0トン	1000トン	500トン	0トン	0トン	0トン	1,500トン